

第2学年2組 学級活動（2）指導案

令和元年 11月12日（火） 第5校時
在籍数 男子12名 女子11名 計24名
場所 2年2組教室
指導者 大 泉 貴 幸

1 題材 「思いやりのある聞き方」 イ よりよい人間関係の形成

2 児童の実態と議題設定の理由

（1）児童の実態

本学級の児童は、明るく素直で1学期に行った「1年生に学校紹介をしよう」では、1年生をリードしながら学校を案内したり、優しく接する姿がみられたりと下級生ができたことの喜びや責任感がみられた。学級では、毎日の清掃に特に意欲的に取り組んでおり、「廊下をピカピカに磨こう！」など目標をもちクラスで協力して取り組む姿が見られる。授業中も意欲的に発表する児童も多い。しかし、一方で授業に集中できない児童や、話を聞いていないことで活動の流れがわからず聞き返すなど、大切なことを聞き逃してしまう児童もみられる。

1学期の終わりに「1学期を振り返ってみよう」で、クラスの成果と課題について振り返りを行った。話し合った結果、「クラスの良いところ」については、「仲が良い」「掃除を一生懸命できる」「優しい」などが出た。「クラスの課題」については、「集中して授業を受ける」「話を聞く」ことに関して課題が出た。

（2）題材設定の理由

1学期の振り返りを踏まえ、「聞く」ことがクラスの問題点であることが分かった。そこで、「話を聞くこと」についてのアンケートを行った結果、以下のことがわかった。

① 話を聞いてもらえなかったことはありますか。	はい 10人 いいえ 14人
② 話を聞いてもらえなかったとき、どんな気持ちでしたか。	・かなしい気持ち ・聞いてもらえなくてくやしい ・話を聞いてほしい 2人

普段の様子でも、相手の話を最後まで聞かず思い込みで行動してしまい、誤解やトラブルになってしまう場面が度々見られる。そこで、本題材では「聞く」ことに焦点をあて、話している人がにこにこになるような聞き方について考えていく。話合いを通して自分にあった方法为目标に設定し実践することで、クラスの目標である「なかよしなクラス」につながられるのではないかと考えた。

「聞く」ことは、人と人との信頼関係を形成する際の初歩的なスキルであると同時に最重要スキルである。本題材を通して、よりよい人間関係が築かれ、研究主題に迫ると考え本題材を設定した。

3 第1学年及び第2学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、よりよい生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸課題に気づき、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、意欲的に課題解決に取り組み、他者と協力し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 本校の研究との関わり

研究主題	「自分の考えを豊かに表現し、互いに高め合う児童の育成」 ～学級活動を通したよりよい人間関係づくり～
研究仮説	好ましい人間関係を築く体験と振り返りを積み重ねることで、個の成長と学級集団の質の向上を高めることができるだろう
視点1	学級活動(1)(2)(3)にバランス良く取り組む
視点2	実態の把握と振り返りを丁寧に行う
視点3	定期的にソーシャルスキルトレーニングや構成的グループエンカウンターを取り入れる

視点1について

これまでに、学級活動(3)「2年生になって」で「理想の学級・学校生活や学習」について話し合い、これを基に自分の目標を決めて実践する活動を行ってきた。また、学級活動(1)では、「よろしくね会をしよう」や「〇〇ちゃんとお別れ会をしよう」を行ってきた。学級活動(2)では、題材「目を見て話を聞こう」で「1体をむける 2あいづちをうつ・うなづく 3アイコンタクトをする 4最後まで話を聞く」という「聞く」ことに関して基本的なスキルを身につけている。本時では、自分だけの聞くスキルではなく、相手を意識した聞き方を身に付けられるようにする。自分の課題を解決し、日常的に実践することで児童同士のよりよい人間関係の育成を目指す一助としたい。このように学級活動(1)(2)(3)をバランスよく行っていくことで、それぞれ固有の意義、課題の相互の関連を図りながら、よりよい自己形成を目指す。

視点2について

1学期末に学級活動(2)の「クラスを振り返ってみよう」でクラスの成果と課題について振り返りを行った。その結果、「授業を静かに聞くともっと良いクラスになる」「話をしっかりと聞けるクラスになりたい」などの意見からクラスの実態を知り、題材に設定した。事前に「聞く」ことのアンケートを行い、アンケート結果をもとに自分がどの位置にいるのか気付かせ、課題を見つけ学級での話し合いを通して自分にあった方法を意思決定し、目標に向かって主体的に取り組めるようにする。1週間立てた目標を実践し、良かったところや実践して見えてきた課題を自己評価する。このように、実態の把握と振り返る活動を繰り返して

うことで、成果を自信と変え次への実践意欲を高め日常化を図れるようにしていきたい。

視点3について

にこにこタイムで、「良い聞き方」のスキルを実施した。「良い聞き方」のスキルとして、①先生が教室の後ろに立って話す内容を聞く。②聞いたことをメモする。③先生が前に立って目を見ながら聞く。④聞いたことをメモする。⑤①と③を比べて、良い聞き方について考える。というスキルを行ったところ、全員が③の聞き方がよいという意見が出た。このようなスキルを通して、どのように聞けばよいのかを理解はしている。本時では、身に付けてきたスキルを生かしながら、相手を意識した聞き方ができるようにしていきたい。

以上のことから、本時は「好ましい人間関係を築く体験と振り返り」の契機となり、個の成長と学級集団の質の向上を期待できることから、研究仮説「好ましい人間関係を築く体験と振り返りを積み重ねることで、個の成長と学級集団の質の向上を高めることができるだろう」を裏付けるものであると考える。

5 育成を目指す資質・能力

本時では、相手を意識した思いやりのある聞き方を学習することで、よりよい人間関係づくりを目指す。学級や学校において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活することのよさや大切さを理解すること、互いの個性を尊重し合う人間関係を形成することができるようにする。また、友達と関わる過程を通して自己理解を深め、互いに協力し合って温かな人間関係を形成しようとする態度を養う。

6 事前の活動

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・アンケートに記入する。	話を聞いてもらえなかったことはあるか考えるように知らせる。	アンケートについて記入し、これまでの話の聞き方について考えることができる。(思考・判断・表現) 【アンケート】
・アンケートを表にまとめる。	アンケート結果を分かりやすくまとめ、学級としての実態をつかむようにする。	

7 本時のねらい

- ・話をしている人がにこにこになる話の聞き方を考え、自分にあつた目標を決めることができる。

8 指導過程

段階	学習活動	・指導上の留意点	資料	目指す児童の姿と評価方法	時間									
導入 つかむ	1 自分たちの話の聞き方を振り返る 2 アンケートの結果を見て気付いたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の教員に注目して VTR を見るよう見る視点を示す。 ・VTR から気付いたことを発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【児童の反応例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○聞き手 <ul style="list-style-type: none"> ・見ていない ・無視している ・いやな感じがする ○話し手 <ul style="list-style-type: none"> ・悲しい ・悔しい ・話したくない </div> <ul style="list-style-type: none"> ・VTR で気付いたことに対して自分たちはどうなのか、アンケートの結果から考えさせる。 ・自分がアンケートにどのように答えたか分かるように、ワークシートにアンケートを貼っておく。 ・聞くことについてのアンケートの結果を示し、学級の課題を共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師に る VTR ・アンケート結果 		7									
展開 さぐる	3 今日の学習のめあてを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果から、「はい」と答えた児童の理由を提示する。 ・話をする人がにこにこになるような聞き方を一人一人がすれば、クラスがどうなるか考えさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【児童の反応例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよくなる ・もっと楽しくなる </div>			8									
話をしている人がにこにこになる聞き方について考えよう														
見つける	4 解決方法について話し合う。 ・気付いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の意見を「顔」「体」「声」の3つの観点に分類し、提示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【児童の反応例】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">顔</td> <td style="width: 33%;">体</td> <td style="width: 33%;">声</td> </tr> <tr> <td>・笑顔で</td> <td>・体を向ける</td> <td>・「そうだね」</td> </tr> <tr> <td>・目を見る</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで出た意見の中で、普段からで 	顔	体	声	・笑顔で	・体を向ける	・「そうだね」	・目を見る					5
顔	体	声												
・笑顔で	・体を向ける	・「そうだね」												
・目を見る														

		<p>きている子がいるか問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段からできている児童と教師でモデリングをする。 ・モデリングの際、児童は3つの観点の中からどれをやるのか発表してから行う。 			
	<p>5 「話をしている人がにこにこになる聞きかた」について2人組で実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す役の子は、自分の好きな○○について話す。 ・聞き役の子は、3つの観点の中からどれを意識して聞くのか確認して聞くようにさせる。 ・「話す→振り返り」の流れを1分間時間を区切って実践させる。 			10
	<p>6 実践し気付いたことを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践してみたの感想を発表させる。 ・手本になりそうな二人組に発表してもらおう。 ・手本でよかったところを称賛し、目標に繋がられるようにする。 			5
<p>終末 決める</p>	<p>7 話し合ったことを通してこれまでの自分を振り返り、「話をしている人がにこにこになる聞きかた」について自分が頑張ることを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なめあてを立てられるよう、3つの観点を振り返り助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート 	<p>話をしている人がにこにこになる話の聞き方を理解し、自分に合った目標を立てることができる。 (知識・技能) 【発言ワークシート】</p>	10

9 事後指導

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (評価観点)【評価方法】
授業後 1週間	決まったこと の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを意識させるために毎朝確認の時間を設ける。 ・帰りの会に学習カードに振り返りを書かせ、次への意欲を高める。 	◎相手がにこにこになる話の聞き方について考え実践している。(思考・判断・表現)【学習カード・観察】

10 板書計画

